

「富士山やさしい日本語化作戦」やさしい日本語活用研修 提案アイデア一覧<まとめシート>

| 区分1 (グループ01) | 区分2 (グループ02) | No. | アイデア | 区分3 (手法01) | 区分4 (手法02) | 実施主体 (関係・支援者等) | 行政関係部局 (支援部局) | 課題 |
|-----------------|-----------------|--------|--|---------------|---------------|-----------------------------|-------------------------|--|
| 観光 | | 観 - 1 | 各市町の富士山GOODS、関連商品を冊子化し、「やさしい日本語」でPRマップを作成 | 冊子・媒体作成 | | 県、各市町 (観光協会) | 観光部局 | |
| 観光 | | 観 - 2 | 富士山の見所等を「やさしい日本語」で紹介 | 冊子・媒体作成 | | 各市町、観光協会、民間、団体 (県) | 観光部局 | |
| 観光 | | 観 - 3 | 富士山周辺観光マップ(食べ物、観光地、温泉等)の作成 | 冊子・媒体作成 | | 各市町、観光協会、民間、団体 (県) | 観光部局 | |
| 観光 | 交流 | 観 - 4 | 「やさしい日本語」通じるMAP(「やさしい日本語」の話せる人がいる場所)の作成。(多言語版と併せて) | 冊子・媒体作成 | | 県、各市町 (観光協会、団体) | 多文化共生部署 (観光部局) | |
| 観光 | | 観 - 5 | 富士山の観光ガイド的動画を「やさしい日本語」で再編集 | 冊子・媒体作成 | | 県、各市町、観光協会 | 観光部局 (多文化共生部署) | |
| 観光 | 啓発 | 観 - 6 | メニューの食材表示(宗教上や、アレルギーに配慮) | 冊子・媒体作成 | 研修 | 各店舗 (県、各市町) | (多文化共生部署、経済産業部局、健康福祉部局) | |
| 観光 | | 観 - 7 | 周辺の飲食店のメニュー等を「やさしい日本語」化(SA・PAの券売機なども) | 冊子・媒体作成 | 研修 | 各店舗 (県、各市町) | (多文化共生部署) | |
| 観光 | | 観 - 8 | 富士周辺、伊豆半島の旅館・交通会社向けに、「やさしい日本語」での日常業務フレーズを配布 | 冊子・媒体作成 | 研修 | 県、観光協会 | 観光部局 (多文化共生部署) | |
| 観光 | 富士登山 | 観 - 9 | 富士山の楽しみ方(2次交通案内、歴史・文化、風景ポイント、登山のルール・マナー)の紹介(冊子、動画、SNS等による情報発信)に活用 | 冊子・媒体作成 | 看板・案内作成 | 県、各市町、観光協会、民間 | 文化・観光部局 (多文化共生部署) | |
| 観光 | 富士登山 | 観 - 10 | 富士山のアクセス情報 | 冊子・媒体作成 | 看板・案内作成 | 協議会、交通事業者 (国、県、各市町、観光協会) | 文化・観光部局 (多文化共生部署) | |
| 観光 | | 観 - 11 | 富士山の見えるスポットへのアクセス情報 | 冊子・媒体作成 | 看板・案内作成 | 県、各市町、観光協会、民間、団体 | 観光部局 (多文化共生部署) | |
| 観光 | | 観 - 12 | 富士山の見える絶景ポイントの案内を「やさしい日本語」で | 看板・案内作成 | 冊子・媒体作成 | 県、各市町、観光協会、民間、団体 | 観光部局 (多文化共生部署) | ・看板設置場所によっては、「富士山における標識類総合ガイドライン」に沿った対応が必要。 |
| 観光 | 富士登山 | 観 - 13 | 各登山口の五合目に「やさしい日本語」コーナーを作り、「やさしい日本語」で案内板を設置したり、パンフレットを置く | 看板・案内作成 | 冊子・媒体作成 | 県、各市町、民間 | 観光部局 (多文化共生部署) | ・工作物の設置は、標高によって、国又は県の許可が必要。 ・「富士山における標識類総合ガイドライン」に沿った対応が必要。 |
| 観光 | 富士登山 | 観 - 14 | 観光パンフ、看板全てに、ふりがな表示 | 看板・案内作成 | 冊子・媒体作成 | 県、各市町、観光協会 | 観光部局 建設・基盤整備部局 | ・看板設置場所によっては、「富士山における標識類総合ガイドライン」に沿った対応が必要。 ・看板の修正には、富士山適正利用推進協議会での審議が必要。 |
| 観光 | | 観 - 15 | 観光案内板の「やさしい日本語」バージョンの作成 | 看板・案内作成 | 冊子・媒体作成 | 県、各市町、観光協会 | 観光部局 (多文化共生部署) | ・看板設置場所によっては、「富士山における標識類総合ガイドライン」に沿った対応が必要。 ・看板の修正には、富士山適正利用推進協議会での審議が必要。 |
| 観光 | | 観 - 16 | 「富士山」という名詞のついた場所が(駅・バス停等)たくさんあって、日本人・外国人問わず迷ってしまう現状から、相手にうまく伝える手段に活用 | 看板・案内作成 | 冊子・媒体作成 | 民間 | (多文化共生部署) | |
| 観光 | 交流 | 観 - 17 | 駅のガイド(乗換えサポート、ホーム案内) | 看板・案内作成 | 研修 | 交通事業者 | (多文化共生部署) | |
| 観光 | | 観 - 18 | 富士山をテーマにした博物館・美術館での展示物の説明文を「やさしい日本語」化 | 看板・案内作成 | | 県、各市町、民間施設 | 文化振興部局 (多文化共生部署) | |

| 区分1 (グループ01) | 区分2 (グループ02) | No. | アイデア | 区分3 (手法01) | 区分4 (手法02) | 実施主体 (関係・支援者等) | 行政関係部局 (支援部局) | 課題 |
|-----------------|-----------------|--------|--|---------------|---------------|--------------------|--------------------------|--|
| 観光 | | 観 - 19 | 寺社等、外国語の表示が景観を損なう場所に活用(和風の書体で) | 看板・案内作成 | | 民間 | (多文化共生部署) | |
| 観光 | 交流 | 観 - 20 | オリンピックを絡めたい | イベント開催 | | 県、各市町、観光協会・スポーツ団体 | スポーツ振興部局 (多文化共生部署) | |
| 観光 | 交流 | 観 - 21 | 日本食のお店の協力で、レシピや作り方を「やさしい日本語」で書いてもらい、外国人利用者に配る(自宅で作って、#でSNSにアップしてもらう) | イベント開催 | | 各店舗 (観光協会、マスコミ) | (多文化共生部署) | |
| 観光 | 交流 | 観 - 22 | 「やさしい日本語」で教える、「富士山の撮り方」教室 | イベント開催 | | 県、各市町、観光協会、観光業者 | 観光部局、文化振興部局 (多文化共生部署) | |
| 観光 | | 観 - 23 | 富士山周辺で「やさしい日本語」を交えたウォークラリー | イベント開催 | | 県、各市町、観光協会、観光業者 | 観光部局、文化振興部局 (多文化共生部署) | |
| 観光 | | 観 - 24 | 「やさしい日本語」対応マップを使った名所巡り | イベント開催 | | 県、各市町、観光協会、観光業者 | 観光部局、文化振興部局 (多文化共生部署) | |
| 観光 | 交流 | 観 - 25 | お土産物屋さんへの「やさしい日本語」講座 | 研修 | | 県、各市町、観光協会 | 多文化共生部署 (観光部局) | |
| 観光 | | 観 - 26 | 富士山と「やさしい日本語」を交えた商品開発(富士山の「雪解け水」を「やさしい日本語」で販売するなど) | 商品開発 | | 民間 (県、市町) | (経済産業部局、多文化共生部署) | |
| 観光 | 啓発 | 観 - 27 | 富士山周辺で売られているグッズのパッケージの取扱い説明に「やさしい日本語」を導入する。 | 商品開発 | | 民間 (県、市町) | (経済産業部局、多文化共生部署) | |
| 啓発 | 交流 | 啓 - 1 | 柳川市を参考に、日本語が分かる外国人登山者に「やさしい日本語を使ってください。」バッジ等をつけてもらい、(山小屋などで)日本人登山者とのコミュニケーションがしやすい環境づくりを進める。 | 商品開発 | | 県 (観光協会、協議会) | 多文化共生課 (観光部局) | |
| 啓発 | 交流 | 啓 - 2 | 「富士山やさしい日本語化作戦」のロゴを作成し、色々な場面で使ってもらったり、ロゴのグッズを販売する。 | 商品開発 | | 県 (観光協会、協議会) | 多文化共生課 (観光部局) | |
| 啓発 | 交流 | 啓 - 3 | 富士山に関する記念館、資料館での日本語教室 | イベント開催 | | 県、各市町、民間 | 文化振興部局 (観光部局、多文化共生部署) | |
| 啓発 | 交流 | 啓 - 4 | 「富士山の日」に、「やさしい日本語」の普及イベントを行う。(イベント参加者に、「やさしい日本語」が話せる証明となるようなピンバッジを配布し、日常的に身につけてもらう。) | イベント開催 | | 県、市町、観光協会 (協議会) | 文化・観光部局 (多文化共生部署) | |
| 交流 | | 交 - 1 | 「富士山」の歌を「やさしい日本語」に翻訳する。 (「富士山(ふじのやま)」の「やさしい日本語」ver.) | イベント開催 | | 県 (市町、観光協会) | 多文化共生課 (観光部局) | ・「やさしい日本語」の理解促進の講座と併せた展開が必要 ・文部科学省に確認が必要かもしれない。 |
| 交流 | 啓発 | 交 - 2 | 富士山を表現する「やさしい日本語」を県内外から募集する。 | イベント開催 | | 県 (市町、観光協会) | 多文化共生課 (観光部局) | ・「やさしい日本語」の理解促進の講座と併せた展開が必要 |
| 交流 | 啓発 | 交 - 3 | 子供でも知っている「富士山」の歌を「やさしい日本語」の歌詞に替えてメロディーをつける。 (新「富士山(ふじのやま)」の創作) | イベント開催 | | 県 (市町、観光協会) | 多文化共生課 (観光部局) | ・「やさしい日本語」の理解促進の講座と併せた展開が必要 ・文部科学省に確認が必要かもしれない。 |
| 交流 | 啓発 | 交 - 4 | 「やさしい日本語」で、富士山を詠む(俳句) | イベント開催 | | 県、各市町 (観光協会) | 文化・観光部局 (多文化共生部署) | ・「やさしい日本語」の理解促進の講座と併せた展開が必要 |
| 交流 | 啓発 | 交 - 5 | 「やさしい日本語」による小学生俳句コンクールの実施 (小学生は、もともと分かりやすい言葉を使うので取り組みやすい。自分達の言葉が外国人にとって分かりやすいという意識付け) | イベント開催 | | 県、各市町 (教委、観光協会) | 文化・観光部局 (多文化共生部署) | ・「やさしい日本語」の理解促進の講座と併せた展開が必要 |

| 区分1 (グループ01) | 区分2 (グループ02) | No. | アイデア | 区分3 (手法01) | 区分4 (手法02) | 実施主体 (関係・支援者等) | 行政関係部局 (支援部局) | 課題 |
|-----------------|-----------------|--------|--|---------------|---------------|--------------------|---------------------------|--|
| 交流 | 啓発 | 交 - 6 | 「輝く お姫様 (竹を取る おじいさんの 話)」「やさしい日本語」翻訳コンクール の開催 | イベント開催 | | 県・富士市共催 (観光協会) | 多文化共生部署 (観光部局、文化振興部局) | ・「やさしい日本語」の理解促進の講座と併せた展開が必要 |
| 交流 | 啓発 | 交 - 7 | 「I LOVE 富士山 - 富士山へ届け、この気持ち!」「やさしい日本語」ラブレターコンクール」の開催 | イベント開催 | | 県、市町、観光協会 | 文化・観光部局 (多文化共生部署) | ・「やさしい日本語」の理解促進の講座と併せた展開が必要 |
| 交流 | 啓発 | 交 - 8 | 富士山清掃などのイベントを、「やさしい日本語」を使ったイベントとして開催 | イベント開催 | | NPO、県、市町 (観光協会) | 環境部局 (多文化共生部局) | |
| 交流 | | 交 - 9 | 世界とつながる・つなげる富士山(世界的な拠点とのネットワークづくり、アンテナショップ・静岡ゆかりのお店、人を探してつながる。 | イベント情報発信 | | 個人 (県、市町) | (多文化共生部局) | ・「やさしい日本語」に関する理解促進が進んでからの展開 |
| 交流 | | 交 - 10 | Instagramの活用(外国人に富士山に関する写真を投稿してもらい、「やさしい日本語」でコメントをつける) | イベント情報発信 | | 県、各市町、観光協会 | 観光部局 (多文化共生部署) | |
| 交流 | | 交 - 11 | 「やさしい日本語」化した「富士山」の歌をCD化する。 | 商品開発 | | 県 (市町、観光協会) | 多文化共生課 (観光部局) | ・売るのか?配布するのか? ・CD化した先の展開をどうするのか重要になる。 |
| 生活 | 観光 | 生 - 1 | 登山期間中、富士山の様子を「やさしい日本語」でHP作成 | 冊子・媒体作成 | | 県、各市町、観光協会 | 文化・観光部局 (多文化共生部署) | |
| 生活 | 世界遺産 | 生 - 2 | 富士山の豆知識、おとぎ話、歴史 | 冊子・媒体作成 | | 県、各市町、観光協会 | 文化・観光部局 (多文化共生部署) | |
| 生活 | | 生 - 3 | 富士山の気象についての紹介 笠雲について・・・「富士山の 頭に 雲がかかると 雨が 降るかも しません。 | 冊子・媒体作成 | | 県、各市町、観光協会 | 環境部局、文化・観光部局 (多文化共生部署) | |
| 生活 | | 生 - 4 | 「自殺防止呼びかけ看板」の「やさしい日本語」化 | 看板・案内作成 | | - | - | ・自殺防止呼びかけ看板のある「青木ヶ原樹海」は、山梨県の区域 |
| 生活 | 観光 | 生 - 5 | 日々の富士山の情報(初雪観測・入山規制、本日の富士山周辺イベント情報など、県民も興味を持つ内容の情報)発信に活用 | イベント情報発信 | | 県、各市町、観光協会、民間、団体 | 観光部局 (多文化共生部署) | |
| 生活 | 観光 | 生 - 6 | 毎日の富士山の写真に「やさしい日本語」でコメントを添えてSNSで発信 | イベント情報発信 | | 県、各市町、観光協会、民間、団体 | 観光部局 (多文化共生部署) | |
| 生活 | 観光 | 生 - 7 | YouTube「ふじさんinfomation」チャンネルを開設し、「やさしい日本語」で情報(天気、登山情報、絶景spot、イベントnews、交通情報、お土産案内など)発信 | イベント情報発信 | | 県、各市町、観光協会、民間 | 文化・観光部局、広報部局 (多文化共生部署) | |
| 生活 | 観光 | 生 - 8 | YouTubeに加え、ネットラジオも同時開局 | イベント情報発信 | | 県、各市町、観光協会、民間 | 文化・観光部局、広報部局 (多文化共生部署) | |
| 生活 | | 生 - 9 | 「やさしい日本語」の理解促進のため、学生、地元のキャラクター、富士山に住んでいる動物が「やさしい日本語」を使っている設定で情報発信 | イベント情報発信 | | 県、各市町、観光協会、民間 | 文化・観光部局、広報部局 (多文化共生部署) | |
| 生活 | 交流 | 生 - 10 | 富士山周辺市町村住民みんなが「やさしい日本語」を使えるような取組み(講座+外国人住民(日本語学校や企業に声をかけ、留学生・技能実習生を活用)との交流(例:「やさしい日本語」おしゃべり会)) | 研修 | | 県、市町 (民間) | 多文化共生部署 (経済産業部局) | |
| 生活 | 啓発 | 生 - 11 | 「わかりにくい日本語→やさしい日本語」トイレットペーパーの製造・富士山周辺の公共施設で活用 | 商品開発 | | 民間 (県、市町) | (経済産業部局、多文化共生部署) | |
| 世界遺産 | 観光 | 世 - 1 | 静岡・山梨両県で出している「世界遺産「富士山」を「やさしい日本語」化 | 冊子・媒体作成 | | 県、協議会 (観光協会) | 富士山世界遺産課 (多文化共生部署) | |

| 区分1 (グループ01) | 区分2 (グループ02) | No. | アイデア | 区分3 (手法01) | 区分4 (手法02) | 実施主体 (関係・支援者等) | 行政関係部局 (支援部局) | 課題 |
|-----------------|-----------------|--------|---|---------------|---------------|---------------------|-----------------------------------|---|
| 世界遺産 | 観光 | 世 - 2 | 「富士山世界遺産センター」の案内板・音声を「やさしい日本語」にする。 | 冊子・媒体作成 | 冊子・媒体作成 | 県 | 富士山世界遺産課 (多文化共生部署) | |
| 世界遺産 | 観光 | 世 - 3 | 各構成資産での案内表示を「やさしい日本語」に変える。(音声も出来れば欲しい。) | 看板・案内作成 | | 県、市町、民間 (協議会) | 文化・観光部局 (多文化共生課) | |
| 世界遺産 | 観光 | 世 - 4 | 世界遺産ガイドへの講習会開催 | 研修 | | 国、県、協議会 (市町) | 富士山世界遺産課 (多文化共生部署) | |
| 富士登山 | 生活 | 登 - 1 | 富士山の注意事項「ホントはこわい富士山」の情報発信に活用 | 冊子・媒体作成 | 看板・案内作成 | 県、各市町 (観光協会) | 観光部局 (多文化共生部署) | |
| 富士登山 | 啓発 | 登 - 2 | 登山で使われそうな言葉やフレーズを集めた、登山で使える「やさしい日本語」集を作成する。 | 冊子・媒体作成 | | 県、協議会 (各市町、観光協会) | 文化・観光部局 (多文化共生部署) | |
| 富士登山 | | 登 - 3 | 富士登山者が守るべきマナー・ルール、注意事項を「やさしい日本語」化 | 冊子・媒体作成 | 看板・案内作成 | 県、協議会 (各市町、観光協会) | 富士山世界遺産課 (多文化共生部署) | |
| 富士登山 | | 登 - 4 | 山小屋の紹介 | 冊子・媒体作成 | 看板・案内作成 | 県、協議会 (各市町、観光協会) | 文化・観光部局 (多文化共生部署) | |
| 富士登山 | | 登 - 5 | 登山に必要な持ち物を「やさしい日本語」で事前に伝える。 | 冊子・媒体作成 | | 県、協議会 (各市町、観光協会) | 文化・観光部局 (多文化共生部署) | |
| 富士登山 | | 登 - 6 | 歩き方(登り方) | 冊子・媒体作成 | | 県、協議会 (各市町、観光協会) | 文化・観光部局 (多文化共生部署) | |
| 富士登山 | 観光 | 登 - 7 | きれいな日の出の撮り方 | 冊子・媒体作成 | イベント開催 | 県、各市町、観光協会、観光業者 | 観光部局、文化振興部局 (多文化共生部署) | |
| 富士登山 | 観光 | 登 - 8 | 富士山5合目までのシャトルバス内でのアナウンスガイドに「やさしい日本語」を追加 | 冊子・媒体作成 | | 交通事業者 (協議会) | (富士山世界遺産課、多文化共生課) | |
| 富士登山 | 観光 | 登 - 9 | マイカー規制に関する周辺広告、案内を「やさしい日本語」化 | 看板・案内作成 | 冊子・媒体作成 | 県 (規制関係協議会) | 交通基盤部 (富士山世界遺産課、県警、多文化共生課) | ・看板設置場所によっては、「富士山における標識類総合ガイドライン」に沿った対応が必要。 ・看板の修正には、富士山適正利用推進協議会での審議が必要 |
| 富士登山 | 観光 | 登 - 10 | 富士登山口までのアクセスを「やさしい日本語」で標記する。 | 看板・案内作成 | | 県、市町 (協議会) | 建設・基盤整備部局 (富士山世界遺産課、県警、多文化共生課) | ・看板設置場所によっては、「富士山における標識類総合ガイドライン」に沿った対応が必要。 ・看板の修正には、富士山適正利用推進協議会での審議が必要 |
| 富士登山 | 観光 | 登 - 11 | ゴミの持ち帰り、分別に関することを「やさしい日本語」化する。 | 看板・案内作成 | 冊子・媒体作成 | 県、市町 (協議会) | 環境部局 (多文化共生課) | ・看板については、「富士山における標識類総合ガイドライン」に沿った対応が必要。 |
| 富士登山 | 観光 | 登 - 12 | 看板や注意書き等、「やさしい日本語」を併記する。(例:服装に関する注意などを、5合目のレストハウス、登山道入口付近に表示) | 看板・案内作成 | | 県、各市町、民間 | 観光部局 (多文化共生部署) | ・工作物の設置は、標高によって、国又は県の許可が必要。 ・「富士山における標識類総合ガイドライン」に沿った対応が必要。 |
| 富士登山 | 観光 | 登 - 13 | 「やさしい日本語」化した看板や案内の掲示の仕方に工夫が必要(大人・子ども・車椅子利用者などUDに配慮) | 看板・案内作成 | | 県、市町、民間 (協議会) | 文化・観光部局 (県民生活課、多文化共生課) | ・「富士山における標識類総合ガイドライン」に沿った対応が必要。 |
| 富士登山 | | 登 - 14 | 各登山ルートに関する紹介文、注意看板等を「やさしい日本語」化 | 看板・案内作成 | 冊子・媒体作成 | 県、市町 (協議会) | 文化・観光部局、建設・基盤整備部局 (県警、多文化共生課) | ・「富士山における標識類総合ガイドライン」に沿った対応が必要。 |
| 富士登山 | | 登 - 15 | 登山(登る)(下る)の表示 | 看板・案内作成 | | 県、市町 (協議会) | 文化・観光部局、建設・基盤整備部局 (県警、多文化共生課) | ・「富士山における標識類総合ガイドライン」に沿った対応が必要。 |
| 富士登山 | | 登 - 16 | 登山口(須走口、富士宮口とか) | 看板・案内作成 | | 県、市町 (協議会) | 文化・観光部局、建設・基盤整備部局 (県警、多文化共生課) | ・「富士山における標識類総合ガイドライン」に沿った対応が必要。 |

| 区分1 (グループ01) | 区分2 (グループ02) | No. | アイデア | 区分3 (手法01) | 区分4 (手法02) | 実施主体 (関係・支援者等) | 行政関係部局 (支援部局) | 課題 |
|-----------------|-----------------|--------|--|---------------|---------------|-------------------|------------------------------------|---|
| 富士登山 | | 登 - 17 | 救助要請に必要な標識の説明 | 看板・案内作成 | 冊子・媒体作成 | 県、市町 (協議会) | 文化・観光部局、建設・基盤整備部局 (県管、多文化共生課) | ・「富士山における標識類総合ガイドライン」に沿った対応が必要。 |
| 富士登山 | | 登 - 18 | 山小屋のトイレの利用案内表示を「やさしい日本語」化 | 看板・案内作成 | | 民間 (協議会) | (自然保護課、多文化共生課) | |
| 富士登山 | | 登 - 19 | トイレ(山小屋含む)の協力金徴収に活かす。 | 研修 | 看板・案内作成 | 民間 (協議会) | (自然保護課、多文化共生課) | |
| 富士登山 | 観光 | 登 - 20 | 登下山の交通手段・乗換え案内に活用 | 研修 | 看板・案内作成 | 交通事業者 | (多文化共生部署) | |
| 富士登山 | 世界遺産 | 登 - 21 | 保全協力金徴収業務従事者への理解促進 | 研修 | | 県 (市町、協議会) | 富士山世界遺産課 (多文化共生課) | |
| 富士登山 | 観光 | 登 - 22 | ガイド(公・民)・山小屋管理者の「やさしい日本語」習得・利用促進 | 研修 | | 県 (市町、協議会) | 文化・観光部局 (多文化共生課) | |
| 富士登山 | 観光 | 登 - 23 | 5合目に配置する案内人に「やさしい日本語」の利用を促進 | 研修 | | 県 (市町、協議会) | 富士山世界遺産課 (多文化共生課) | |
| 富士登山 | | 登 - 24 | 山小屋で「やさしい日本語」に関するグッズを置き、登山者(外国人・日本人)へ配る | 商品開発 | | 県 (市町、協議会) | 富士山世界遺産課 (多文化共生課) | ・グッズが何か不明。(バッジ、シールのような啓発グッズか) ・ただ配るだけではなく、「やさしい日本語」の使い手となるための仕掛けが必要。 |
| 富士登山 | | 登 - 25 | 「やさしい日本語」を使つての富士登山ガイド本の作成 | 商品開発 | | 民間 (県、市町) | (富士山世界遺産課、多文化共生部署) | |
| 富士登山 | | 登 - 26 | 「やさしい日本語」を使つての富士登山ガイド本(マンガ版)の作成 ※20ページ程度のハンディサイズ、空港、案内所、KIOSK等で100円程度で販売、本職の漫画家を起用(過去の国・自治体のマンガものは、絵やストーリーに魅力が欠けている。) | 商品開発 | | 民間 (県、市町) | (富士山世界遺産課、多文化共生部署) | |
| 富士登山 | 観光 | 登 - 27 | 「やさしい日本語」でガイドする登山ツアーを行う。 | イベント開催 | | 県、各市町、観光協会、観光業者 | 観光部局 文化振興部局 (多文化共生部署) | |
| 富士登山 | 交流 | 登 - 28 | 在留外国人向け富士登山講習会の開催 | イベント開催 | | 県、各市町、観光協会、民間、団体 | 観光部局 文化振興部局 (多文化共生部署、経済産業部局) | ・参加者の人数集めに苦労が予想される。(防災出前講座等の経験上) |
| 富士登山 | 交流 | 登 - 29 | 「やさしい日本語」化した「富士山」の歌を、富士登山の外国人および日本人登山者が山小屋で合唱し、その後「ご来光」をする。 | イベント開催 | | 民間 (県、市町) | (富士山世界遺産課、多文化共生部署) | |
| 富士登山 | 交流 | 登 - 30 | 富士山「やさしい日本語」、勝手に推奨DAYの制定(登山シーズン中の毎週水曜日は、登山者も山小屋の人も観光業者も浅間神社の神主さんも、出来るだけ「やさしい日本語」を使うように心がける日に、勝手に決めて、「やさしい日本語」を使ってくれた人に、「やさしい気持ち」をお返しする。) | イベント開催 | | 県 (市町、協議会) | 富士山世界遺産課 (多文化共生課) | |
| 富士登山 | 生活 | 登 - 31 | 海拔0から富士登山するという登山ルートにある看板の標記に活用 | 看板・案内作成 | | 県、各市町(観光協会、観光業者) | 観光部局 (多文化共生部署) | |
| 防災 | | 防 - 1 | 富士山の災害(噴火など)、防災情報に関する冊子・HPの作成 | 冊子・媒体作成 | | 国、県 (協議会) | 富士山世界遺産課 (危機管理部、交通基盤部、多文化共生課) | |
| 防災 | 世界遺産 | 防 - 2 | 構成資産に、災害時の案内表示をする。 | 看板・案内作成 | 冊子・媒体作成 | 県、市町、民間 (協議会) | 文化・観光部局 (危機管理部、交通基盤部、多文化共生課) | |

団体：日本富士山協会、富士山を世界遺産にする国民会議など
協議会：富士山における適正利用推進協議会